

事業所名 ふくおーれ2号店

支援プログラム

作成日

2024年

9月

1日

法人(事業所)理念		「オーダーメイドの心理支援」を理念として、放課後等デイサービス・児童発達支援事業においては利用児童及び家族へのサービス提供を通じて、児童本人や周囲の家族・学校・保育園等の関係者を含めたQuality of Lifeを高めることを目指す。					
支援方針		利用児童の行動観察や検査の実施、家族からの聞き取り等の情報収集を通して適切な見立てをおこない、一人ひとりの特性・個性に応じた支援計画を作成して支援をおこなう。 また、臨床心理士・公認心理師の資格をもった職員が支援を実施し、必要に応じて家族との情報共有や相談を実施し、療育の場面だけではなく、家庭・学校・保育園等での困りごとに児童や家族が対処できるよう支援をおこなう。					
営業時間		12時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活リズムや生活習慣の形成を促進するため、必要に応じて家庭でのプログラムを作成し、家族と協働して本人が健康的な生活を維持できる力を身に付けられるよう支援をおこなう。 利用児童の能力や特性に応じて、生活場面の環境調整(視覚化支援、構造化等)や、児童本人と一緒にスケジュールを作成することを通して、生活リズムや生活習慣を整えることができるよう支援を実施する。また、年齢や発達段階に応じて体調管理やストレス対処法等の心理教育を実施し、セルフケアの習慣形成を目指す。					
	運動・感覚	体を使った運動を含む遊びを通して、児童本人が苦手とする動きを楽しんで反復練習できるよう支援をおこなう。 (例: ボール遊び、バランスボード等を利用した粗大運動や体幹のトレーニング、折り紙やはさみを使用した工作、箸の練習等を通じた微細運動のトレーニング等) また、感覚過敏・鈍麻等がある場合は特性にあった環境調整をおこない、本人が活動に取り組みやすい環境を整える。					
	認知・行動	様々な認知課題への取り組みを通して、必要な認知機能の向上や集中して取り組む力のトレーニングをおこなう。 児童の年齢や発達段階に応じて、学校等での学習の躓きがある場合は、特性に合った学習方法を身につけることを目的として学習支援を取り入れたトレーニングを実施する。					
	言語コミュニケーション	遊びや課題を通して、語彙の獲得やコミュニケーションスキルの向上を目的とした支援をおこなう。 児童の発達段階に応じて、具体的な物や視覚情報と言葉を結びつけることによる言語の習得や、指さし・ハンドサイン等のジェスチャーを用いた意思表示、SSTを通じたコミュニケーションスキルのトレーニングを実施する。					
	人間関係社会性	発達段階に応じて、周囲の他者と適切な人間関係が築けるよう社会性のトレーニングをおこなう。 (例: 遊びを通じた動作模倣、視線合わせ等のトレーニング、視覚化教材を用いた相手の気持ちの理解を促す心理教育、ゲームを通してルールを理解して行動するトレーニング等)					
家族支援		適宜家族支援を実施し、臨床心理士・公認心理師による相談支援を実施する。本人・家族の困っていることについて聞き取り、家庭や学校でできる対処について提案をおこない、本人・家族の双方が安心して生活を送ることができるよう支援をおこなう。			移行支援		進級・進学・就職等の環境変化や、新たな取り組み等に伴う児童本人・家族の不安を軽減し、意欲をもってチャレンジができるよう支援をおこなう。(例: 関係機関への情報共有をおこなう、本人と事前の情報収集を一緒におこなう、リラクゼーションを実施する等)
地域支援・地域連携		地域の関係機関と必要に応じて連携し、本人・家族が生活しやすくなるよう支援をおこなう。 (例: 医療機関・教育機関等への情報共有、支援会議の開催・参加等)			職員の質の向上		事業所内での定期的なケースカンファレンスの実施をおこない、職員が相互に学びあう環境を作る。
主な行事等		定期的に集団療育を実施し、個別療育で培ったコミュニケーションスキル等の力を少人数の集団で発揮するための機会を設けている。 また、集団療育では①他者とのコミュニケーションスキルのトレーニング②運動機能(微細運動・粗大運動)のトレーニング③様々な刺激がある中での注意・集中のトレーニング等の要素を含んだレクリエーションを実施し、楽しく参加できるよう工夫している。					